

防災対策の強化について

資 料 No. 2
令和 7 年 5 月 7 日
防災くらし安心部

人口減少下において、自然災害が激甚化・頻発化する中、能登半島地震や令和6年7月の大雨災害等も踏まえ、本県の防災力の強化に向けて、担い手不足への対応や男女双方の視点を取り入れるための取組を更に充実させていくことが必要

令和7年度の主な取組

① 防災分野への女性の参画促進

■ 女性防災士養成の推進

- ・ 地域防災の担い手としての女性防災士を養成するため、県内4地域において「女性防災士育成セミナー」等を開催

参考：県内の防災士数（R5年度）
合計2,528人（うち女性484人／割合19.1%）



■ 防災会議委員への女性委員の登用推進

- ・ 防災に必要な対策・対応に男女共同参画の視点を取り入れ、地域防災力の向上を図るため、防災会議へ女性委員を積極的に登用

参考：防災会議委員の女性比率（R6年4月時点）

- ・ 山形県防災会議 11.3% ／ 都道府県平均 23.3%
- ・ 県内市町村平均 9.4% ／ 全国市町村平均 11.3%

② 防災DXの取組強化

■ 「避難所運営支援システム」の導入

- ・ 避難所運営の効率化を図るとともに、避難者情報を迅速に把握し、効果的な避難者支援につなげるため、「避難所運営支援システム」を県・市町村が一体となって導入

< 今後の進め方（イメージ） >

- ・ R7 市町村と協議の上、県がシステム構築
- ・ R8～ 県と市町村共同でシステム運用

【避難所運営支援システム（防災アプリ）のイメージ】

